

阪谷芳郎男（公正）登場。
元時相手に於ける各般の進歩、
精神を以て當局の善惡を要望す

阪谷芳郎男（公正）登場。
朝鮮の状況は誠に御心より、
運営順により、運営順により、
元時相手に於ける各般の進歩、
精神を以て當局の善惡を要望す

貴族院本會議

英米海軍協定

貴族院本會議

艦建否報に通

英米佛三國エスカレーター條項援用か

米は既に態度を明示

近く協同聲明文協議せん

英米佛三國は既に制限外主力艦の建造案を用意してゐるから英佛兩國の態度如何

日和西爾日报

佛國文豪フ翁

鮮滿北支視察

京漢線方面の戰況

我各部隊勇猛進撃

淇縣侯陽等要地占領

津浦線上の我軍に

多年の懸案實現せん

全國中央氣象觀測機關を

多年の懸案實現せん

河の西方二里に位する要地である

敵は三千餘の死體を遺棄して漢

軍又迅速な大迂回行動によつて敵

を殲滅した

敵は三千餘の死體を遺棄して漢

軍又迅速な大迂回行動によつて敵

脱稿した新移民法案

さて其の内容は?

二分制限は据置きで

呼寄、歸化法に重大変化

既報の通り新移民法案は近々説明して大統領の裁可を得る者である

同案は

一、外國人の入國並に植民の歸化を許さない。二、外國人の歸化を許さない。三、外國人の歸化を許さない。

の二つに分れ前者は政府に絶対調査権を持たせ外國人の「出國及び入國」等の統制をさせ精神病癡病者等の入國を防止する事による苦衷である。更に農業移民は最も重要な事である。また、更に農業移民には特典を與へる。

民たる事は

決して決して入伯後一定期間政府

は是等農業移民には特典を與へる。

然し国外へ出る場合此の特典権は

喪失する。移民入國割當は最小割當を一千名以上と歐洲小國移民

の入伯を容易くねらし、さらに日本移住民にも多少特典が與へられる。

本移住民にも多少特典が與へられる。

本移住民の中、今は失敗

したが一時はシナ・オリエンテで

貢出してゐた吉井修氏が帰郷せた

彼弟及び妻一人は西京に

居住する兄修氏の所へ届まはれ

てゐるものと断定して聖市アッ

セニア・アントンスを出發する

である。

トマソ・カタリナ州の邊境植民地視察團

ブラ拓の

サ・カタ

植民地視察團

十九日サントスを出發

サンタ・カタリナ州の邊境植民地視察團をまとめてゐたブラ拓は

ケーラを

おつた豪雨に冒水した

視察團をまとめてゐた

ブラ拓は

ケーラを

おつた豪雨に冒水した



麗人哀歌 (139)

小柴 愛正 浩(畫)

深まる疑惑(3)

あまり馬鹿々々として仕事がない。

龍太郎は、じろりと女達を振返つてみて、

「敏枝さん、この女達は誰ですか？」

「お友達、あたしの。女院さんなんの……！」

同族会の夜、娘子と會つてゐた際に、

娘子には奸意が持てず、

娘子に現場を見つけられたことは、

多少のきまり悪さを感じて、

「だつて、お兄さまが悪いのよ。

あなたしなんかちつとも相手に

して下さらないんだもの……！」

娘子が二人あつたために敏枝さんも氣づいていた。而も、それは

娘子で訊き出した。

はじめ、龍太郎が部屋にはひつ

時から、どこからも羨慕な、繁

しきった様子があつた。とはい

つて、まだお兄さまも呼ばれなくなつたのはおひまではない。でも名

いとは感じてゐたが——これはま

た附けられたお給の方だった

のです。さういふ記憶はありません

ね？」

「ないわ！」おひまは、深くも零

へてみすに、ありのまゝ云つた。

同じ名前が二人あつたために敏

枝さんもお兄さまも呼ばれなくなつ

たのはおひまではない。でも名

いとは感じてゐたが——これはま

た附けられたお給の方だった

のです。さういふ記憶はありません

ね？」

「ないわ！」おひまは、深くも零

へてみすに、ありのまゝ云つた。

同じ名前が二人あつたために敏

枝さんもお兄さまも呼ばれなくなつ

たのはおひまではない。でも名

いとは感じてゐたが——これはま

た附けられたお給の方だった

のです。さういふ記憶はありません

ね？」

「ないわ！」おひまは、深くも零

へてみすに、ありのまゝ云つた。

同じ名前が二人あつたために敏

枝さんもお兄さまも呼ばれなくなつ

たのはおひまではない。でも名

いとは感じてゐたが——これはま

た附けられたお給の方だった

のです。さういふ記憶はありません

ね？」

「ないわ！」おひまは、深くも零

へてみすに、ありのまゝ云つた。

同じ名前が二人あつたために敏

枝さんもお兄さまも呼ばれなくなつ

たのはおひまではない。でも名

いとは感じてゐたが——これはま

た附けられたお給の方だった

のです。さういふ記憶はありません

ね？」

「ないわ！」おひまは、深くも零

へてみすに、ありのまゝ云つた。

同じ名前が二人あつたために敏

枝さんもお兄さまも呼ばれなくなつ

たのはおひまではない。でも名

いとは感じてゐたが——これはま

た附けられたお給の方だった

のです。さういふ記憶はありません

ね？」

「ないわ！」おひまは、深くも零

へてみすに、ありのまゝ云つた。

同じ名前が二人あつたために敏

枝さんもお兄さまも呼ばれなくなつ

たのはおひまではない。でも名

いとは感じてゐたが——これはま

た附けられたお給の方だった

のです。さういふ記憶はありません

ね？」

「ないわ！」おひまは、深くも零

へてみすに、ありのまゝ云つた。

同じ名前が二人あつたために敏

枝さんもお兄さまも呼ばれなくなつ

たのはおひまではない。でも名

いとは感じてゐたが——これはま

た附けられたお給の方だった

のです。さういふ記憶はありません

ね？」

「ないわ！」おひまは、深くも零

へてみすに、ありのまゝ云つた。

同じ名前が二人あつたために敏

枝さんもお兄さまも呼ばれなくなつ

たのはおひまではない。でも名

いとは感じてゐたが——これはま

た附けられたお給の方だった

のです。さういふ記憶はありません

ね？」

「ないわ！」おひまは、深くも零

へてみすに、ありのまゝ云つた。

同じ名前が二人あつたために敏

枝さんもお兄さまも呼ばれなくなつ

たのはおひまではない。でも名

いとは感じてゐたが——これはま

た附けられたお給の方だった

のです。さういふ記憶はありません

ね？」

「ないわ！」おひまは、深くも零

へてみすに、ありのまゝ云つた。

同じ名前が二人あつたために敏

枝さんもお兄さまも呼ばれなくなつ

たのはおひまではない。でも名

いとは感じてゐたが——これはま

た附けられたお給の方だった

のです。さういふ記憶はありません

ね？」

「ないわ！」おひまは、深くも零

へてみすに、ありのまゝ云つた。

同じ名前が二人あつたために敏

枝さんもお兄さまも呼ばれなくなつ

たのはおひまではない。でも名

いとは感じてゐたが——これはま

た附けられたお給の方だった

のです。さういふ記憶はありません

ね？」

「ないわ！」おひまは、深くも零

へてみすに、ありのまゝ云つた。

同じ名前が二人あつたために敏

枝さんもお兄さまも呼ばれなくなつ

たのはおひまではない。でも名

いとは感じてゐたが——これはま

た附けられたお給の方だった

のです。さういふ記憶はありません

ね？」

「ないわ！」おひまは、深くも零

へてみすに、ありのまゝ云つた。

同じ名前が二人あつたために敏

枝さんもお兄さまも呼ばれなくなつ

たのはおひまではない。でも名

いとは感じてゐたが——これはま

た附けられたお給の方だった

のです。さういふ記憶はありません

ね？」

「ないわ！」おひまは、深くも零

へてみすに、ありのまゝ云つた。

同じ名前が二人あつたために敏

枝さんもお兄さまも呼ばれなくなつ

たのはおひまではない。でも名

いとは感じてゐたが——これはま

た附けられたお給の方だった

のです。さういふ記憶はありません

ね？」

「ないわ！」おひまは、深くも零

へてみすに、ありのまゝ云つた。

同じ名前が二人あつたために敏

枝さんもお兄さまも呼ばれなくなつ

たのはおひまではない。でも名

いとは感じてゐたが——これはま

た附けられたお給の方だった

のです。さういふ記憶はありません

ね？」

「ないわ！」おひまは、深くも零

へてみすに、ありのまゝ云つた。

同じ名前が二人あつたために敏

枝さんもお兄さまも呼ばれなくなつ

たのはおひまではない。でも名

いとは感じてゐたが——これはま

た附けられたお給の方だった

のです。さういふ記憶はありません